

文化・経済フォーラム滋賀

文化deけいざい 経済deぶんか ニュース&にゅーす 第4号(2011年4月27日)

発行 滋賀県文化振興事業団内事務局(大津市京町3丁目4-22 旧滋賀会館内)

077(522)8369 fax 077(522)9647

eメール bunka-keizai@shiga-bunshin.or.jp

事務局 岸野 洋



文化deけいざい 経済deぶんか
ニュース&にゅーす 第4号

公益社団法人「企業メセナ協議

会」がどん

な活動をしているのか、話を聞きに行っ

てきました。アポ取りした4月22日午前でした。事務所は東京駅八重洲北口から徒歩3分余り、外堀通りにある第一鉄鋼ビル1階でした。滋賀県文化振興事業団本部職員の有田淳さんと一緒に伺ったのですが、専務理事の加藤恒夫さん、事務局長の田代富保さんに出てきてもらい、話を聞くことが出来ました。

最初に用件から話したのですが、嬉しいことに文化・経済フォーラム滋賀の組織化を知ってもらってました。かなり関心があるようでしたので、少し自慢げに喋らせて頂きました。それで、企業メセナ協議会ですが、設立から20年でした。正会員は一口25万円で、資生堂など150社近く、準会員は一口12万円で、大阪21世紀協会など40団体ほどが加盟でした。予算規模はかなり大きいようです。

どんな活動しているかですが、縦長の4つ折パンフに沢山、書いてありました。項目を挙げますと、以下の通りです。

<啓発・普及> セミナー・シンポジウム開催、メセナアドバイス、講師派遣 <調査・研究> 企業のメセナ活動調査 <情報集配> ホームページ、機関誌(メセナnote) <顕彰> メセナ大賞の制定 <国際交流> 世界各国のメセナ組織との交流 <助成> 芸術文化活動への税制面からの支援

などです。こうした事業を運営する事務局ですが、専務の加藤さん、事務局の田代さんは専任のようですし、詳しくは聞きませんでした。会議室から部屋を覗くと、実働のスタッフは10人近くおられるようでした。

話を聞きながら文化・経済フォーラム滋賀との関りを考えていましたが、カギは加藤専務が言われる「文化振興による地域コミュニティ再生」という点で、結びつくように思いました。地方とは<全国メセナネットワーク>という組織の事務局を持って、連携を模索されているようです。今、16団体が登録されています。どんな団体なのか、以下に列記してみます。

・伊達メセナ協会（北海道）　・地域の文化を支援する企業と個人の会（福島県）　・企業メセナ群馬（群馬県）　・大田まちづくり芸術支援協会（東京都）　・企業メセナ協議会（東京都）　・よこはま市民メセナ協会（神奈川県）　・長坂メセナの会（山梨県）　・松本芸術文化協会（長野県）　・新潟県文化振興財団（新潟県）　・東海メセナ研究会（愛知県）　・八尾市文化振興事業団（大阪府）　・出雲メセナ協会（島根県）　・山口メセナ倶楽部（山口県）　・メセナ八幡浜（愛媛県）　・佐賀県企業メセナ協議会（佐賀県）　・くまもと文化アシスト会議（熊本県）

NPO法人、行政と企業の協働組織、企業の連合体など様々です。日本各地のメセナ関連組織の交流、情報交換などを目的にしており、年1回の全国会議、ニュースレターの発行、活動の紹介などを行っているようです。去年12月発行のニュースレターをもらいましたが、09年10月に山口県で開催した第14回全国メセナネットワーク会議の記録が出ていました。文化・経済フォーラム滋賀も、まずこういう組織と関わりを持ったら、どうかなあと思ひ、戻ってから有田さんに電話をかけてもらいましたら年会費1万円で、組織と活動ぶりをニュースレターなどで紹介してもらえます。近い将来、滋賀でネットワークの全国大会が開催できれば...、とふと頭によぎりました。

同席した有田さんが加藤専務の話をもメモしてくれましたので、概略を以下に書いておきます。

リーマンショック以降、地域性の再構築を重視し、市民自治としての芸術文化の達成、地域経済の支えとして、芸術文化が必要であることを訴えている。入会団体には、芸術文化支援に関する情報提供、情報誌「メセナ note」の配布。年に1回、メセナ実践例の視察旅行を実施している。メセナ事業の企画や運営、コーディネーターの派遣を行っている。東日本大震災では、芸術文化による復興支援ファンドを設立、被災者・被災地を応援する芸術・文化活動などを支援している。特定公益増進法人として寄付も募る。



写真は企業メセナ協議会の会議室です。左から2人目が加藤専務、お隣りが田代事務局長です。もらってきた資料は5月11日開催の幹事会で提出したいと思ひます。

（以上、文責・岸野）